

健康経営への取り組み

当法人が運営する事業所の利用者が穏やかな日常の生活を過ごす為には、そこで働く職員が心身共に健康であることが第一条件と考えています。

また、健康経営は人材育成において有意義な考え方であり、必要性が非常に高い取り組みです。

そこで、私たちは、職員の働く環境を改善し、社会生活と福祉の発展に貢献できるよう、法人をあげて健康維持・増進活動への積極的な支援と組織的な健康づくりを推進するため、健康経営の取り組みを 2019 年から開始いたしました。

経営宣言

当法人の事業の根幹は人材です。

私たちは、福祉サービスを通して地域社会に貢献することを使命としています。そのためには、職員一人ひとりの心身が健康で、個性や能力を最大限発揮することが不可欠であると考えます。

社会福祉法人あおば厚生福祉会は、全国健康保険協会宮城支部と協力し、職員とその家族の自発的な健康維持増進活動に対する支援と組織的な健康づくりを推進し、職員が健康でいきいきと働ける組織づくりに努めることを宣言します。

2020年1月

社会福祉法人あおば厚生福祉会

理事長 佐藤 篤史

健康経営推進体制

全事業部で「健康経営の推進」を図ることを目的とし、業務執行理事を委員長に、各事業部の部長、施設長、労務担当者のメンバーで「健康経営推進委員会」を構成し、職員の健康保持・増進への取り組みの情報共有及び課題の把握と改善についての検討を行っています。

重点施策

1. 健康習慣アンケート結果を基に職員の健康に対する啓発と取り組みを把握。
2. 施設内の看護師、管理栄養士等有資格者を健康経営のスペシャリストとして感染予防や事故防止等に活用。
3. 当法人の行事や、各施設の特色及び環境に創意工夫を凝らし健康経営に反映。
4. 事故防止委員会や安全衛生管理委員会、給食委員会等、既存の委員会や会議等の取り組みを健康経営に活用。